

【上市町】
ネットワーク整備計画

1 必要なネットワーク速度が確保できている学校数、総学校数に占める割合（％）

○総学校数 7校（小学校6校、中学校1校）

○必要なネットワーク速度が確保できている学校数 6校 ※

○総学校数に占める必要なネットワーク速度が確保できている学校の割合 85.7％

※令和6年度に町内小中学校において実施したネットワークアセスメント業務委託による調査結果と「学校規模ごとの当面の推奨帯域」（文部科学省・令和6年4月公表）と比較した結果による。

2 必要なネットワーク速度の確保に向けたスケジュール

（１）ネットワークアセスメントにより明らかとなった課題と対策

令和6年度に実施したネットワークアセスメント業務委託及びユーザー体感調査によると上市中学校1校において、文科省が示す推奨帯域を満たしていなかった（実測値 456.45Mbps<推奨帯域値 468Mbps（＝児童生徒規模 420人））。

アセスメントの結果として、UTM やスイッチにおけるハード不良、機器スペック不足及びボトルネック、並びに回線のスループット測定におけるトラフィックの頭打ち状態やボトルネックは確認されなかったが、無線環境下での大容量データの通信を想定したレイテンシ測定では、遅延が発生している状況が確認された。

このような状況の改善策として、既存のフレッツ光回線だけではなく、別のインターネット接続網（ケーブルテレビ光網等）によるインターネット回線の分散整備が望ましいとされた。また、今後の端末活用の更なる推進や次世代の校務システムの実現などによるクラウド環境の利用が増えることも考慮し、既存の1Gbps回線契約ではなく、10Gbps回線契約に切り替えることがより高い効果を生むとされている。

（２）ネットワークアセスメントを踏まえた対策予定

上記2（１）で特定された課題への対策として、既存フレッツ回線の一部をケーブルテレビ回線など別の回線に切り替えることを検討する。

切替検討では、当町のエリアではケーブルテレビ光網の10Gbps回線サービスは現在未提供ではあるが、将来的なサービス提供が実施されることも念頭に、令和7年度または令和8年度で新たな回線への切り替えの実施となるよう、令和7年度中に対策の実施に向けて検討する。